

- 問1 北海道の北東部に位置する海域で見られる流氷は、冬季の重要な観光資源となっています。この地域における流氷観光の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形公立入試 類似)
1. 砕氷船と呼ばれる特殊な船に乗り、海面の氷を割りながら進む様子を間近で見学する。
 2. 流氷の上を歩いて北方領土まで渡り、現地の歴史を学習するツアーに参加する。
 3. 暖流に乗って流氷とともにやってくるカツオやマグロなどの大型魚を一本釣りで狙う。
 4. 流氷を溶かして作った真水を大規模なパイプラインで本州へ送る施設を見学する。
- 問2 明治時代、ロシアなど北方からの脅威に備える警備と、北海道の土地の開拓を同時に行う目的で送り込まれた兵士とその家族を何と呼びますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 屯田兵
 2. 開拓使
 3. 守護代
 4. 防人
- 問3 北海道の地形や都市の配置について説明した次の文章のうち、地理的状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 京都公立入試 類似)
1. 道北の稚内市から海岸線沿いに南東方向へ進むと、オホーツク海に面した網走市に到達する。
 2. 内陸盆地に位置する旭川市から西へ進むと、オホーツク海に面した小樽市の港が見える。
 3. 道南の志苔館跡や洞爺湖がある地域は、主にオホーツク海の影響を強く受けている。
 4. 日本海に面した網走市では、冬にカリブ海から流れてくる流氷を観察することができる。
- 問4 北海道の農業の土地利用の状況について、東北地方と比較して述べた文として正しいものはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 東北地方は全耕作面積に占める米の割合が高く米単作的な傾向があるが、北海道は米以外の作物も大規模に栽培されている。
 2. 北海道は全耕作面積に占める米の割合が日本で最も高く、米への依存度が東北地方よりも顕著である。
 3. 東北地方は冷涼な気候のため米以外の畑作が中心だが、北海道は広大な土地のほぼすべてを米の栽培面積に割り当てている。
 4. 北海道と東北地方はともに全耕作面積のほとんどが米で占められており、栽培面積の実数においても地域的な差異は見られない。
- 問5 北海道の中西部を流れる石狩川の下流域には、かつて大規模な泥炭地（湿地帯）が広がっていましたが、土地改良が進んだことで現在は日本有数の稲作地帯となっています。石狩川の河口が面している海域と、その流域に広がる平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 岡山公立入試 類似)
1. 日本海と石狩平野
 2. 太平洋と十勝平野
 3. オホーツク海と北見盆地
 4. 太平洋と根釧台地
- 問6 北海道の人口分布の変遷について述べた次の文のうち、1950年代後半から現在にかけての状況を正しく説明しているものはどれですか。統計上、札幌市の人口は1958年の約48万人から、2018年には約195万人へと、60年間で約4倍に増加しています。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 札幌市への一極集中が進み、道内の他の地域から人口が流入することで、北海道全体の人口に占める札幌市の割合が大幅に上昇した。
 2. 道内各都市でバランスよく開発が進んだため、札幌市以外の旭川市や函館市でも、札幌市と同等のペースで人口が増加し続けている。
 3. 札幌市の人口は増加したものの、北海道全体の人口増加率がそれを上回っているため、道内における札幌市の人口シェアは低下傾向にある。
 4. 1970年代以降、札幌市ではドーナツ化現象による人口減少が激しくなり、現在は1950年代当時の人口規模を下回っている。
- 問7 日本の都道府県別の統計において、空港の数が14か所と全国で最も多く、新幹線の駅の数が2か所設置されている都道府県があります。この地域において、これほど多くの空港が設置されている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため
 2. 険しい山脈が中央部を走っているため鉄道や道路の建設が難しく、空路が唯一の移動手段となっているため
 3. 四方を海に囲まれた島国のような環境であり、本州との往来には航空機を利用する以外の方法がないため
 4. 世界遺産の登録数が国内で最も多く、海外からの観光客を各地の観光地へ直接送客する必要があるため
- 問8 石狩川流域では、かつて植物が完全に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地が広がっていましたが、この土地を大規模に開発し、農地や市街地として利用するために行われた工夫として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 排水路を整備して水を抜き、別の場所から土を運び入れる客土を行う
 2. 大規模な植林を行い、地中の水分を吸収させて森林面積を拡大させる
 3. 周辺の山々から大量の水を流し込み、人工的な湖を作って水運を盛んにする
 4. 地面の下にある岩盤を削り、土地を平坦にしてから地下水を注入する
- 問9 北海道東部の太平洋側において、夏に発生する濃霧がもたらす低温や日照不足といった気候条件に適応するために、この地域で古くから発展してきた農業の特徴はどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。
 2. 温暖な気候が必要な米の品種改良を進め、広大な平野で二毛作を行う。
 3. 山地を切り開いて段々畑を作り、水はけを良くして果樹栽培を行う。
 4. 夏の涼しさを利用して、東京などの大消費地向けにレタスなどの高原野菜を栽培する。
- 問10 日本の人口約1億2700万人に対し農業従事者が約340万人（約2.6%）である統計と、北海道の人口約538万人に対し農業従事者が10.4万人（約1.9%）である統計を比較したとき、北海道の人口に対する農業従事者の割合に関する説明として正しいものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 全人口に対する農業従事者の割合は、全国平均を下回っている
 2. 全人口に対する農業従事者の割合は、全国平均を上回っている
 3. 人口規模に比例して、農業従事者の割合は全国平均と一致している
 4. 大規模農業が盛んなため、人口に対する農業従事者の割合は全国で最も高い
- 問11 世界自然遺産である知床半島において、エコツーリズムを推進するために設置されている「高架木道」について、地面から高く浮かせて設置されている理由として最も適切な説明はどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 歩行者が地面の植物を踏みつけるのを防ぎ、かつヒグマなどの野生動物との距離を保つため
 2. 冬の間降り積もる深い雪に道が埋もれないようにし、一年を通じて観光を可能にするため
 3. 地熱による木材の腐敗を防止し、メンテナンスにかかる費用を最小限に抑えるため
 4. 森林火災が発生した際に、木道が防火帯として機能し、延焼を食い止めるため
- 問12 1997年に施行された「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律（アイヌ文化振興法）」が、それ以前の政策から大きく転換した点について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
1. アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。
 2. アイヌの人々の居住地を北海道に限定し、伝統的な狩猟や漁業の権利のみを保障する方針に転換した。
 3. アイヌの人々を日本人に同化させることを目的とし、日本語教育を義務づける方針に転換した。
 4. アイヌの人々に対して金銭的な補償を行うことで、すべての歴史的課題を解決する方針に転換した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 砕氷船と呼ばれる特殊な船に乗り、海面の氷を割りながら進む様子を間近で見学する。	網走や紋別などのオホーツク海沿岸の都市では、分厚い氷を砕きながら進むことができる「砕氷船」が運航されており、冬の北海道を代表する観光地となっています。流水は寒冷な親潮（千島海流）の影響を受けて南下してくるものであり、暖流とは無関係です。また、流水の上を歩いて国境を越えるような観光は行われていません。
問2	答え 1 屯田兵	明治政府は、ロシアの南下政策に対する国防上の必要性と、広大な未開地の開発を両立させるため、1874年に屯田兵制度を設けました。主に士族（元武士）が家族とともに北海道へ渡り、厳しい自然環境の中で現在の札幌や旭川といった地域の発展の基礎を築きました。
問3	答え 1 道北の稚内市から海岸線沿いに南東方向へ進むと、オホーツク海に面した網走市に到達する。	北海道の北端にある稚内市は日本海とオホーツク海の境界に位置しており、そこから東側の海岸線を下ると網走市があるオホーツク海沿岸に至ります。旭川市は内陸の盆地に位置し、その西側にある小樽市が面しているのは日本海です。また、流水が押し寄せるのは北海道の北端に位置するオホーツク海であり、カリブ海や東シナ海はこの地域には存在しません。
問4	答え 1 東北地方は全耕作面積に占める米の割合が高く、米単作的な傾向があるが、北海道は米以外の作物も大規模に栽培されている。	東北地方は伝統的に「日本の穀倉地帯」と呼ばれ、全耕作面積に占める米の栽培面積の割合が高い「米単作的」な傾向が強い地域です。一方、北海道も米の栽培面積の実数（ヘクタール）では最大級の規模を持ちますが、同時に小麦、豆類、てんさい（砂糖の原料）、じゃがいもといった畑作物や、大規模な酪農も並行して行われています。このため、農地の全体像を比較すると、北海道は東北地方よりも農業の多様性が高く、結果として全耕作面積に占める米の割合は低く抑えられることになります。
問5	答え 1 日本海と石狩平野	石狩川は、大雪山系に源を発し、北海道中央部を北西へと流れ、日本海に注ぐ一級河川です。その下流域には石狩平野が広がっています。かつては水はけの悪い泥炭地が広がり、農作物の栽培には不向きな土地でしたが、大規模な排水事業や客土（他の場所から良質な土を運ぶこと）などの土地改良が行われた結果、現在では道内最大の稲作地帯となっています。
問6	答え 1 札幌市への一極集中が進み、道内の他の地域から人口が流入することで、北海道全体の人口に占める札幌市の割合が大幅に上昇した。	北海道では、県庁所在地である札幌市に行政・経済・文化の諸機能が集中する「一極集中」の傾向が顕著です。1950年代後半以降、石炭産業の衰退などによって道内他地域の人口が減少する一方で、サービス業や商業が集積する札幌市には仕事や利便性を求めて人々が集まりました。この結果、北海道全体の人口が減少に転じてからも、札幌市およびその周辺都市圏の人口が占める割合は高まり続けています。
問7	答え 1 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため	北海道は日本の総面積の約22%を占めるほど広大であり、札幌や函館、旭川、釧路といった主要都市間の距離が非常に離れています。そのため、移動時間を短縮し、迅速な物流や人流を確保するために、道内各地に多くの空港が整備されました。また、2016年には北海道新幹線が開通したことで、現在は空路だけでなく、新幹線による陸路での本州との接続も強化されています。
問8	答え 1 排水路を整備して水を抜き、別の場所から土を運び入れる客土を行う	石狩川流域に広がる泥炭地は、水分が非常に多く農業には適さない土地でした。そのため、開拓にあたっては排水路を設けて湿地の水を抜くだけでなく、他の場所から性質の異なる土を運び入れる「客土（かくど）」という作業が行われました。これにより、もともと泥炭地は稲作などが可能な広大な農地や、人々が暮らす市街地へと作り替えられました。
問9	答え 1 冷涼な気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。	道東の太平洋側では、夏の濃霧による日照不足や低温（冷害）の影響で稲作が困難でした。そのため、冷涼な気候でも育つ牧草を栽培し、それを飼料として牛を育てる酪農が発展しました。特に根釧台地などは、日本を代表する酪農地帯として知られています。
問10	答え 1 全人口に対する農業従事者の割合は、全国平均を下回っている	北海道は日本最大の食料供給基地であり、広大な耕地面積を有していますが、全人口に対する農業従事者の割合は約1.9%であり、全国平均の約2.6%を下回っています。これは、札幌市などの都市部に人口が集中していることや、1戸あたりの経営面積が大きく、機械化によって少ない人数で効率的な生産が行われていることが要因として挙げられます。
問11	答え 1 歩行者が地面の植物を踏みつけるのを防ぎ、かつヒグマなどの野生動物との距離を保つため	知床のような貴重な生態系が残る場所では、観光利用が自然破壊につながる「観光公害」を防ぐ必要があります。木道を地面から浮かせることで、貴重な植物の踏みつけを物理的に回避できるほか、電気柵を併設することでヒグマが木道内に侵入するのを防ぎ、野生動物との適切な距離を保ちながら安全に自然観察を行うことが可能になっています。これは、環境保護と観光資源の活用という、制度の目的を具現化した仕組みです。
問12	答え 1 アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。	それまでの「北海道旧土人保護法」は、アイヌの人々を日本人の中に同化させることを目指した法律であり、アイヌ独自の文化や言語は否定される傾向にありました。アイヌ文化振興法の制定は、そうした同化政策から、多文化共生社会の実現に向けて、アイヌ独自の民族的誇りや文化的多様性を尊重する方針へと舵を切った重要な転換点となりました。